

α世代の子供たちの道徳とは

現在の10代前半～20代の人たちのことをZ世代という名称で呼ぶことはご存じの方々も多いと思います。この世代の特徴としては、生まれたときから既にデジタル機器に囲まれており、インターネット等に慣れ親しんでいることが挙げられます。では、その次の世代であるα世代（現在の12歳以下）はどのような特徴があるのでしょうか。

デジタル機器に囲まれているのはZ世代と変わりません。しかし、大きな違いはオンライン授業などの新しい様式での教育を受けているということです。またクロームブックのようなタブレット端末を自在に操作できるのも大きな特徴です。

ことわざに「不易流行」という言葉があります。不易とは時代を通じて変わらないこと、そして流行とは、その言葉どおり新しく変化をするものを取り入れていくことを表します。道徳教育でいうと、道徳性を育むという本質は不易なのかもしれません。しかし、流行という面では、昨今のデジタル化の中で、さらにα世代に対してはより一層の時代の変化に応じた指導方法が求められると感じています。

従来の教科書の紙ベースでの理解に加え、動画などの映像を使うことにより、道徳授業の場面でより一層深く考えることができると思っています。今後も目の前の子供たちの発達段階に応じた指導はもとより、デジタル機器なども有効に活用しながら、道徳性を育てていきたいと思えます。

（文責：道徳部 久慈利幸）

2年生の道徳科の時間

今月は2年生です。この日の授業では、主人公のうさぎの無謀な行動をふり返り、健康で安全な生活を送ることについて考えました。

主題名：安全な生活 内容項目：「節度・節制」

教材名：「うさぎのみみた」

あらすじ：元気なうさぎの男の子、みみたは誰よりも走るのが上手。自転車や車が来ても、気にせず道に飛び出しては、友だちに自慢していました。けれどある日、赤信号のいのししの道に飛び出して、トラックにはねられてしまいます。みみたは大けがをして、病院のベッドの上で泣いてしまいます。

自分勝手な行動が周囲に迷惑をかけることに気付く教材です。

教師の問い

ベッドの上で泣き続きたみみは、どんなことを思っていたのでしょうか。

子供たちの考え

- ・こんなことしなきゃよかった。
- ・ちゃんと右・左を確認して、信号をわたればよかった。
- ・つらいよ……。苦しいよ……。

授業の後半では、授業のねらいである「安全な生活」について、あらためて子供たちの考えを聞き、振り返りをしました。

教師の問い

安全のために、どんなことに気を付けて生活していきたいですか。

子供たちの考え

- ・横断歩道をわたるときは、きちんと右・左を見て、自分を守るために安全な行動をしたいです。
- ・自分の身は自分で守りたいです。
- ・安全のために、ちゃんと交通ルールを守りたいです。

2学期も始まり、交通安全という子供たちにとっては時期に適した学習でした。子供たちも自分の生活に置き換えながら、きまりを守る大切さについて考えていました。

